

平成23年度決算概要



1. 全会計について

平成23年度の益子町の全会計の歳入総額は13,119,805,599円、歳出総額は12,339,061,146円で、歳入歳出差引額は780,744,453円となっており、平成22年度決算額と比較しますと、歳入は1,146,572,476円(9.6%)、歳出は696,089,849円(6.0%)とそれぞれ増額し、差引額では450,482,627円(136.4%)の増額となっております。

単位:円、%

会計名		平成23年度決算額	平成22年度決算額	増減額	増減率
一般会計	歳入	8,377,816,402	7,452,433,734	925,382,668	12.4
	歳出	7,667,737,907	7,277,581,123	390,156,784	5.4
	差引額	710,078,495	174,852,611	535,225,884	306.1
国民健康保険特別会計	歳入	2,829,314,171	2,719,663,103	109,651,068	4.0
	歳出	2,780,968,555	2,591,634,416	189,334,139	7.3
	差引額	48,345,616	128,028,687	△79,683,071	△62.2
後期高齢者医療特別会計	歳入	146,268,481	146,655,204	△386,723	△0.3
	歳出	145,160,471	145,408,256	△247,785	△0.2
	差引額	1,108,010	1,246,948	△138,938	△11.1
介護保険特別会計	歳入	1,310,710,643	1,231,959,852	78,750,791	6.4
	歳出	1,301,382,203	1,227,327,587	74,054,616	6.0
	差引額	9,328,440	4,632,265	4,696,175	101.4
公共下水道事業特別会計	歳入	352,338,689	315,426,772	36,911,917	11.7
	歳出	343,679,903	303,226,073	40,453,830	13.3
	差引額	8,658,786	12,200,699	△3,541,913	△29.0
農業集落排水事業特別会計	歳入	103,357,213	101,181,120	2,176,093	2.2
	歳出	100,132,107	97,772,796	2,359,311	2.4
	差引額	3,225,106	3,408,324	△183,218	△5.4
合計	歳入	13,119,805,599	11,973,233,123	1,146,572,476	9.6
	歳出	12,339,061,146	11,642,971,297	696,089,849	6.0
	差引額	780,744,453	330,261,826	450,482,627	136.4

*平成23年度決算書が、役場・中央公民館・改善センター・あぐり館に備えてありますのでご参照ください。

2. 一般会計決算概要

平成23年度の一般会計の歳入総額は8,377,816千円、歳出総額7,667,738千円で、歳入歳出差引額(形式収支)は710,078千円となりました。

形式収支から翌年度に繰り越すべき財源349,784千円を控除した実質収支は360,294千円の黒字となっており、このうち200,000千円を財政調整基金に積み立てし、残額は平成24年度への繰越金としており

ます。また、単年度収支については、前年度の実質収支額を上回ったことにより193,617千円の黒字となりましたが、実質単年度収支は、159,929千円の赤字となっております。

財政状態を示す財政指標のうち経常収支比率は87.8%と前年度から1.3ポイント悪化しました。これは、昨年度に比べ繰越金及び町債の内、臨時財政対策債の減少によるところが大きく影響しております。公債費比率については、10.6%で前年度から1.0ポイント減少しました。

平成23年度末の地方債の残高は、6,350,583千円で前年度末より97,486千円減少しました。しかしながら、この金額は歳入の75.8%に相当し、依然高水準にあることに変わりはありません。これは地方交付税の代替措置である臨時財政対策債の発行によることが大きな要因であり、起債残高の50.0%を占めています。

一方、財政調整基金残高は、前年度から263,547千円減少し779,604千円となりました。これは歳出削減により、剰余金の積立、基金の取崩しが少額であったことによりです。しかしながら、財政の健全化の維持及び計画されている事業の執行のためにもさらなる積立を図っていく必要があります。

歳入のうち自主財源は3,453,450千円、自主財源比率は41.2%となっており、前年度と比較しますと額で481,097千円の増、率では1.4ポイントの増となっております。また、依存財源は4,924,366千円で58.8%、前年度対比で442,285千円の増ですが、率では1.4ポイントの減となっております。これは、繰入金金の増加(前年度比501,888千円増)及び地方交付税(前年度比213,831千円増)、国庫支出金(前年度比137,499千円増)県支出金(前年度比76,320千円増)の増加によるものです。

歳出のうち消費的経費は6,596,575千円で、前年度対比69,055千円増(2.1%減)となりました。内訳としては、補助費等、公債費及び積立金等が減少し、人件費、扶助費、繰出金及び物件費が増となっております。投資的経費は1,071,163千円で、前年度対比321,102千円(2.1%)の増となっております。これは、益子小学校改築事業及び東日本大震災に伴う災害復旧事業費の増によるものです。



平成23年度の主な事業

- 障害者扶助 351,796 千円
- 老人扶助 30,322 千円
- 民間保育所入所運営 440,507 千円
- 児童手当 455,062 千円
- こども医療費助成事業 52,849 千円
- 芳賀中部上水道団企業団補助金 39,813 千円
- 芳賀台地土地改良事業負担金 58,598 千円
- 経営体育成基盤整備事業 31,623 千円
- 道路改良・舗装・修繕工事 147,532 千円
- 消防施設整備 18,058 千円
- 幼稚園育成事業 29,514 千円



平成23年度一般会計歳入歳出決算

(単位:千円、%)

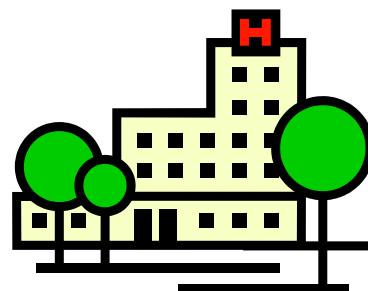
歳 入			歳 出		
区 分	金 額	構成比	区 分	金 額	構成比
○ 自主財源	3,453,450	41.2	○ 消費的経費	6,596,575	86.1
町 税	2,399,523	28.6	人 件 費	1,304,220	17.0
分担金及び負担金	125,585	1.5	物 件 費	709,845	9.3
使用料及び手数料	49,959	0.6	維持補修費	28,548	0.4
財 産 収 入	9,945	0.1	扶 助 費	1,464,325	19.1
寄 附 金	14,362	0.2	補 助 費 等	1,343,405	17.5
繰 入 金	650,704	7.8	公 債 費	827,951	10.8
繰 越 金	90,745	1.1	積 立 金	91,630	1.2
諸 収 入	112,627	1.3	投資・出資金及び貸付金	31,763	0.4
○ 依存財源	4,924,366	58.8	繰 出 金	794,888	10.4
地方譲与税	101,213	1.2	○ 投資的経費	1,071,163	13.9
利子割交付金	6,004	0.1	普通建設事業費	615,505	8.0
配当割交付金	3,992	0.0	災害復旧事業費	455,658	5.9
株式等譲渡所得割交付金	1,027	0.0	失業対策事業費	0	0.0
地方消費税交付金	200,281	2.4			
ゴルフ場利用税交付金	62,066	0.7			
自動車取得税交付金	23,246	0.3			
地方特例交付金	34,008	0.4			
地方交付税	2,181,256	26.0			
交通安全対策特別交付金	2,651	0.0			
国庫支出金	944,511	11.3			
県 支 出 金	728,822	8.7			
町 債	635,289	7.6			
歳入合計	8,377,816	100.0	歳出合計	7,667,738	100.0



3. 国民健康保険特別会計決算概要

平成23年度の国民健康保険特別会計の歳入総額は2,829,315千円、歳出総額は2,780,969千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は48,346千円となりました。このうち25,000千円を財政調整基金に積立し、残額は平成24年度への繰越金としております。前年度と比較しますと歳入は109,651千円（4.0%）、歳出は189,334千円（7.3%）とそれぞれ増額となっております。これは、歳入で、国庫支出金が46,928千円、繰越金が40,840千円増加し、歳出において、保険給付費が95,065千円、後期高齢者支援金が48,202千円増加したことによるものです。

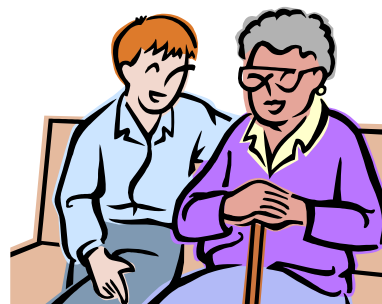
なお、保険税の収納率は66.2%で前年度から1.5ポイント増加しました。



4. 後期高齢者医療特別会計決算概要

平成23年度の後期高齢者医療特別会計の歳入総額は146,268千円、歳出総額は145,160千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は1,108千円となりました。歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料99,560千円で歳入の68.1%、一般会計からの繰入金45,414千円で歳入の31.3%を占めています。歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金141,832千円で歳出の97.7%を占めています。

なお、保険料の収納率は99.8%となっております。



5. 介護保険特別会計

平成23年度の介護保険特別会計の歳入総額は1,310,710千円、歳出総額は1,301,382千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は9,328千円となりました。前年度と比較しますと歳入は78,750千円（6.4%）、歳出は74,055千円（6.0%）とそれぞれ増額となっております。これは、歳入で支払交付金が32,218千円、国庫支出金が21,284千円増加し、歳出で保険給付費が75,023千円増加したことによるものです。

なお、保険料の収納率は98.1%で前年度から0.7ポイント減少しました。



6. 公共下水道事業特別会計

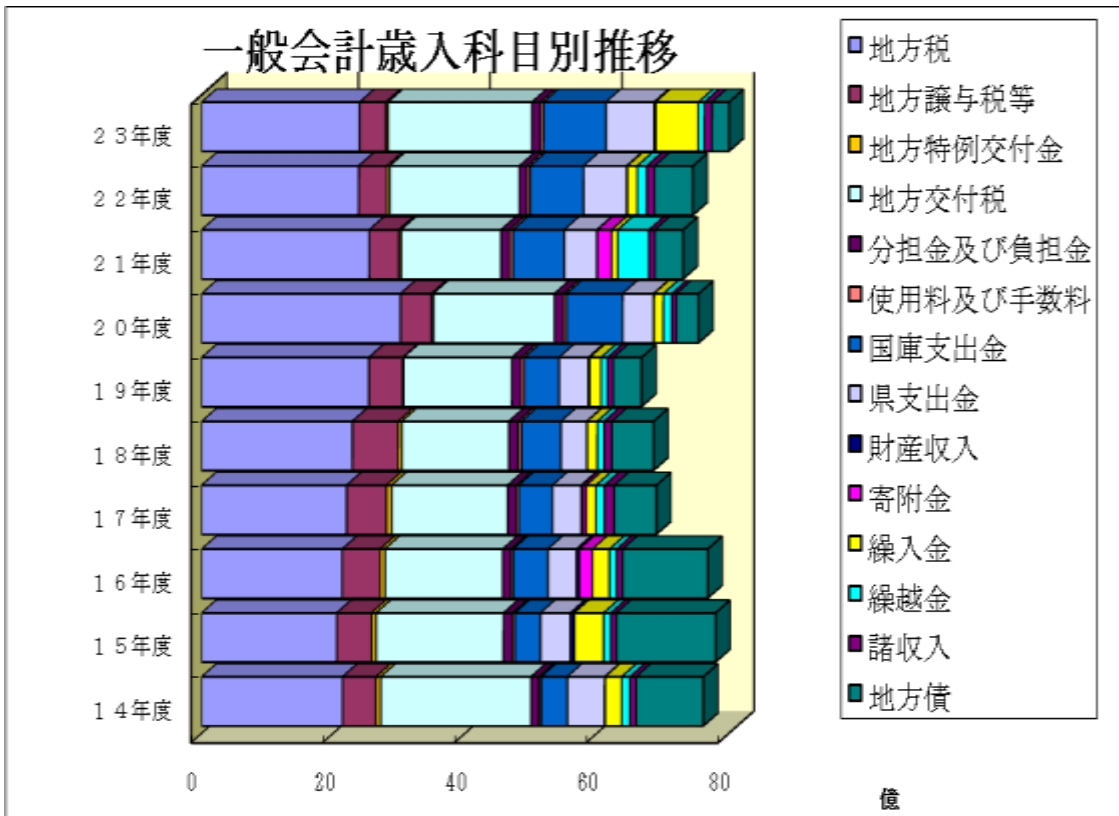
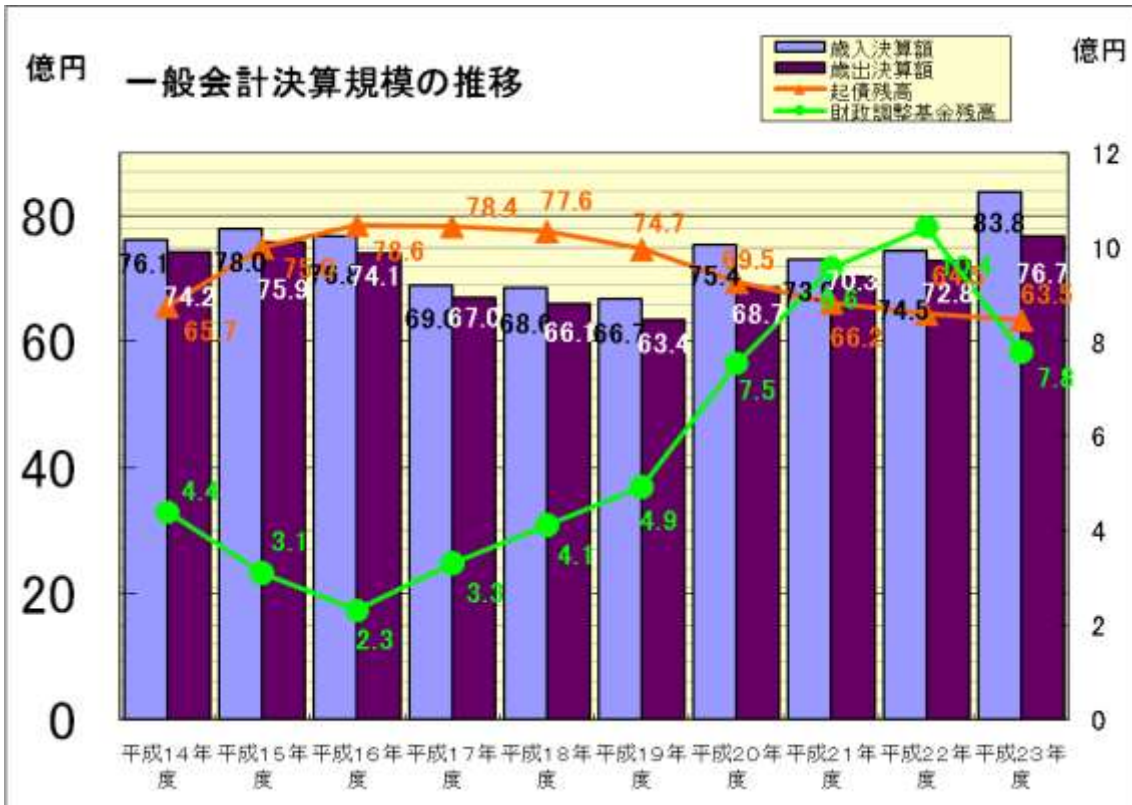
平成23年度の公共下水道事業特別会計の歳入総額は352,339千円、歳出総額は343,680千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は8,659千円となりました。前年度と比較しますと歳入は36,911千円（11.7%）、歳出は40,454千円（13.3%）とそれぞれ増額となっております。これは、歳入で財産収入で15,152千円、国庫支出金で12,000千円増加し、歳出で公共下水道事業費41,730千円が増加したことによります。なお、水洗化率は77.6%でした。



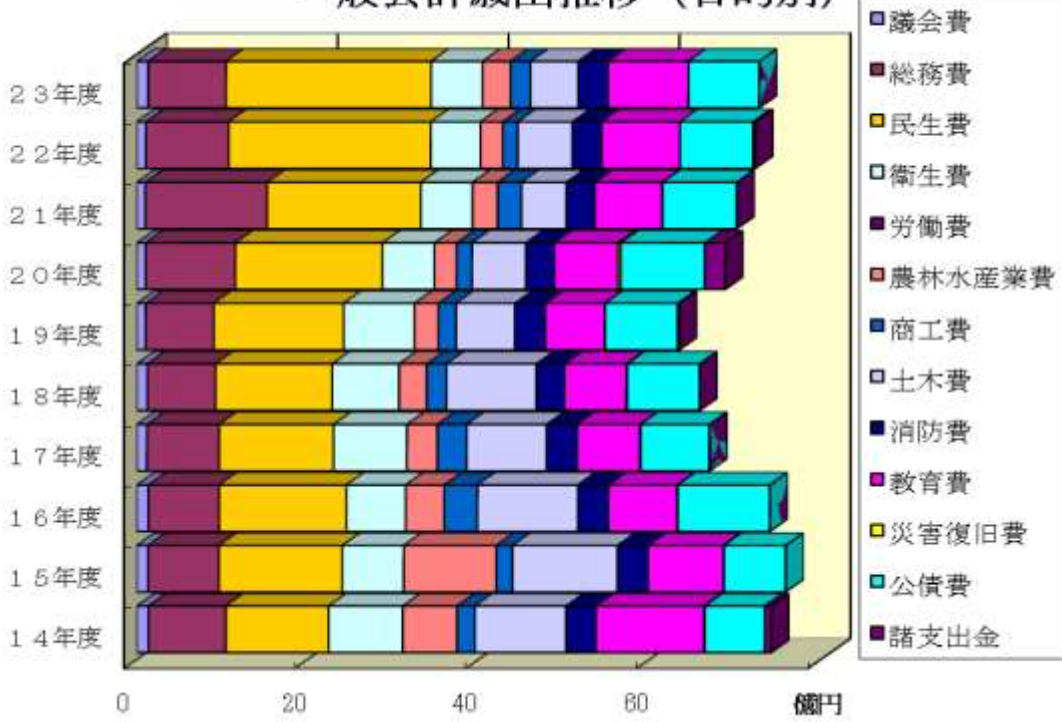
7. 農業集落排水事業特別会計

平成23年度の農業集落排水事業特別会計の歳入総額は103,358千円、歳出総額は100,132千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は3,226千円となりました。前年度と比較しますと歳入は2,176千円（2.2%）、歳出は2,360円（2.4%）とそれぞれ増額となっております。





一般会計歳出推移（目的別）



一般会計歳出推移（性質別）

